

## 「带状疱疹ワクチンについて」

大分健生病院

今年度から带状疱疹ワクチンの定期接種が始まりましたので、今回はそのワクチンについてお話しします。

水ぼうそう（水痘）にかかった人の体内にその原因である水痘・带状疱疹ウイルスが潜伏します。普段は免疫力によってウイルスの活動は抑えられていますが、様々な理由で免疫力が低下すると、ウイルスが再び活動を始め、日本では80歳までに約3人に1人が带状疱疹を発症するとされています。

带状疱疹の症状の特徴は痛みです。皮疹が治った後も痛みが残ることがあり、これを带状疱疹後神経痛（PHN）といいます。PHNの発生率は約3%とされていますが、加齢とともに発生のリスクは高くなり、50歳以上の患者さんの約2割がPHNに移行するという報告もあります。初期の症状が重症な人ほど移行しやすいともいわれています。この痛みが日常生活に影響を与えたり、長期間の治療を要したりすることもあるので、带状疱疹にならないように予防すること、もしなってしまったら早めに治療を始めることが大切です。

そのつらいPHNになる人を減らすために、带状疱疹ワクチンが定期接種となりました。定期接種の対象等については下の記事をご覧ください。

ワクチンには生ワクチンと組換えワクチンの2種類があります。生ワクチンは1回の接種で済みますが、組換えワクチンは2回接種する必要があり、料金に大きな違いがあります。効果と副反応についても表のような違いがあり、また生ワクチンは病気や治療によって免疫能が低下している方は接種ができません。

どちらを接種するのがいいとは一概には言えませんので、かかりつけ医と相談してください。

ちなみに、带状疱疹に罹ったことのある人も定期接種の対象にはなりません。しかし通常、带状疱疹は一生に1回しかかからず、再発率は数%と言われています。

また、定期接種対象外の年齢では費用の助成は受けられませんが、50歳以上であればワクチンの接種は可能で、組換えワクチンに限っては18歳以上で帯状疱疹に罹患するリスクが高い方も接種可能です。

帯状疱疹に対する効果	生ワクチン	組み換えワクチン
接種後1年	6割程度	9割以上
接種後5年	4割程度	9割程度
接種後10年	—	7割程度

PHNに対する効果	生ワクチン	組み換えワクチン
接種後3年	6割程度	9割以上

主な副反応の発現割合	生ワクチン	組換えワクチン
70%以上	—	接種部位の痛み
30%以上	接種部位の発赤	筋肉痛、疲労、接種部位の発赤
10%以上	接種部位のかゆみ・熱感・腫れ・痛み・硬結*	頭痛、悪寒、発熱、胃腸症状、接種部位の腫れ
1%以上	発疹、倦怠感	倦怠感、接種部位のかゆみ
頻度不明	アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎	ショック、アナフィラキシー